中央大学人文科学研究所研究チーム「外国語教育における複言語・複文化能力の育成と実践」

公開研究会のご案内

日時：**2025 年 7 月 24 日（木）** 15:00～16:30
形式：対面とオンライン（Zoom）によるハイブリッド形式
会場：多摩キャンパス 2 号館 4 階 研究所会議室 1
言語：日本語
参加無料（事前登録をお願いします）

価値としての複言語主義
日本における二重の単言語主義の乗り越えを目指して

講演者：**境 一三**（獨協大学外国語学部特任教授）

【講演概要】
本講演では、「複言語主義」の概念を整理した上で、「能力としての複言語主義」と「価値としての複言語主義」を紹介し、後者の重要性を論じる。これとの関連で、CEFR CV で議論の深化があった mediation 概念の今日的意義についても触れる。最後に、言葉への気づき能力の育成について、日英独の言語比較に例を取って紹介する。

【境一三氏のプロフィール】
獨協大学外国語学部特任教授。慶應義塾大学名誉教授。専門はドイツ語教育を中心とする外国語教育学。東京外国語大学外国語学部ドイツ語学科および東京大学文学部美学藝術学科を卒業、東京大学大学院人文科学研究科独語独文学専修で学ぶ。1989 年成蹊大学法学部専任講師、1990 年同助教授、1997 年慶應義塾大学経済学部助教授、2000 年同教授を経て 2022 年より現職。慶應義塾大学では外国語教育研究センターで 2003 年から 2007 年まで副所長、その後 2013 年まで所長を務めた。そのほか、文科省からの委託による「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（グローバル化に対応した外国語教育推進事業）」に携わり、その成果である『外国語の授業づくりの手引き Ver.1』が今年 2025 年に刊行された。

近年の著書・論文等
『多言語主義社会に向けて』［共著］（くろしお出版）2017 年
『ことばを教える・ことばを学ぶ：複言語・複文化・ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）と言語教育』［共著］（行路社）2018 年
『外国語教育を変えるために』［共著］（三修社）2022 年
「複言語主義に基づく第二外国語教育：資質・能力論を手がかりに考える」『外国語教育研究ジャーナル』第 2 号 2021 年
「日本の外国語教育で複言語・複文化主義を実践する：慶應義塾の挑戦」『ドイツ語学・文学』第 62 号 2022 年
「日本に複言語主義は必要か？：ヨーロッパとの対比で」『獨協大学外国語教育研究所紀要』第 12 号 2023 年

申し込み：https://forms.gle/Rrm7qRi354hWMfAH9（＊2025 年 7 月 22 日(火)までに登録をお願いします）

研究チームメンバー（50 音順）
栗原 文子 KURIHARA Fumiko（商学部教授／英語）
高次 裕 TAKATSUGI Yutaka（商学部准教授／ドイツ語）
舟木 律子 FUNAKI Ritsuko（商学部教授／スペイン語）
文 純實 MOON Soonsil（商学部准教授／朝鮮語）
鈴木 ひろみ SUZUKI Hiromi（商学部准教授／中国語）
二宮 理佳 NINOMIYA Rika（商学部教授／日本語）
南 映子 MINAMI Eiko（経済学部准教授／スペイン語）
山浦 アンヘラ YAMAURA Ángela（商学部准教授／スペイン語）

中央大学多摩キャンパスへのアクセス：多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅 直結

問い合わせ先：高次 裕 ytakatsugi679@g.chuo-u.ac.jp